



Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～

御津臨海企業懇話会が開催

5月13日、御津臨海企業懇話会の平成28年度定期総会と第9回研修会が開催されました。

当懇話会は、三河港内の御津地区における立地企業が情報交換を通じての相互連携や防災に関する認識を深める事などを目的に、平成23年度から取り組まれています。総会では、昨年度の事業や決算報告、また今年度の事業計画と予算案が審議・可決されました。後の研修会においては、当事務所長から三河港の整備計画について、愛知県三河港務所長からは三河港BCPについての講演がありました。

当事務所では、国土交通省での施策の情報提供や、三河港臨海部での防災・減災の取り組みなどを引き続き積極的に行っていきます。



講演中の当事務所長

「高浜の干潟生きもの調査」開催



5月8日、高浜市芳川町の干潟において、高浜市の市民団体「渡し場かもめ会」主催の「高浜の干潟生きもの調査」が行われました。この調査会は、子供たちに海の生きものや環境について学んでもらうために毎年開催されており、今年は児童と保護者を合わせて148名の方々が参加されました。

当日は天候にも恵まれ絶好の観察日和となりました。子供たちは調査が始まるとスコップを片手に、岩の下に隠れているカニや砂の中の貝などの生きものを一生懸命つかまえていました。

生きもの調査の後には、当事務所職員から干潟の生きものについての説明などを行いました。今年は昨年以上に多様な生きものが観察され、子供たちは自分たちがつかまえた生きものがなんという名前なのかを熱心に質問していました。



調査中の参加者の皆さん



生きものについて説明中

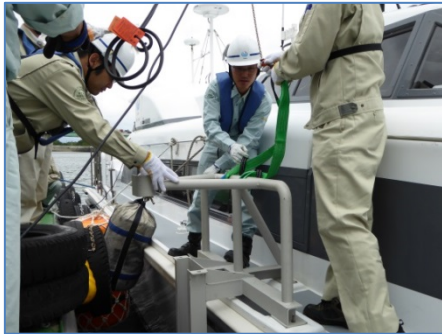


ナローマルチビーム測深機設置訓練を実施

南海トラフの巨大地震・津波に対する防災・減災対策の取り組みとして、三河港では平成27年度より国、港湾管理者、民間企業で構成する「三河港BCP協議会」を設置して、緊急物資輸送航路啓開についても検討を実施しております。三河港湾事務所は、災害時には被害調査及び応急復旧を行うこととなっています。その際、当所所有の海底地形測深機（ナローマルチビーム測深機）を活用することで、津波により海底に沈降したコンテナ、車両等の障害物の有無を把握することが可能となります。

今年度、事務所所属港湾業務艇「しおさい」に装備されている海底地形測深機を使用し、どのように海底障害物を把握できるか、また災害時ににおいてどのように情報を伝達したら有効なのかについて、実海域において地形測深訓練を予定しています。

5月16日午後、新年度のメンバーで測深機の設置訓練を行い、災害時に速やかに出動できるように設置作業のノウハウを習得しました。



取付架台の設置



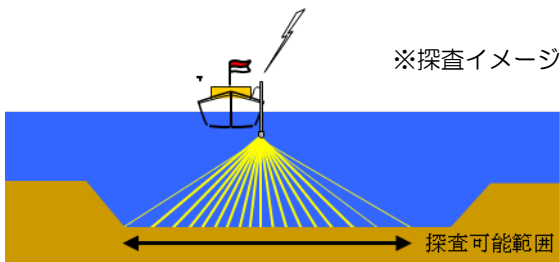
送受波器の設置



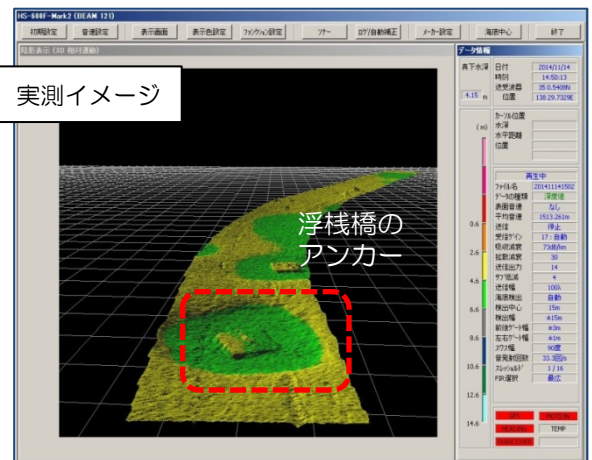
設置完了

<ナローマルチビーム測深機とは>

超音波のビームを海底に数多く発射することにより効率よく精密に海底の地形を計測する音響測深機で、海底に横たわる障害物や落下物の形状をとらえることができます



※探査イメージ



三河港湾ぎゃらりー



作品No44 木材チップ荷役中
(衣浦港中央ふ頭西地区)

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00

(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1

TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地

TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>